

## [015]生活体験学習研究表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/1560826>

---

出版情報：生活体験学習研究. 15, 2015-02-15. 日本生活体験学習学会  
バージョン：  
権利関係：

## 日本生活体験学習学会 事務局報告

### I 理事会会議日程

- 第1回理事会 2014年1月25日  
於 別府大学  
※2013年度第7回理事会と同時開催
- 第2回理事会 2014年3月23日  
於 福岡市大名公民館
- 第3回理事会 2014年5月18日  
於 福岡市大名公民館
- 第4回理事会 2014年7月6日  
於 福岡市大名公民館
- 第5回理事会 2014年9月15日  
於 福岡市大名公民館
- 第6回理事会 2014年11月1日  
於 福岡市大名公民館
- 第7回理事会 2014年12月26日  
於 九州大学
- 第8回理事会 2015年1月31日  
於 九州大学

### II 会員実数

- 全104名 (2014年12月31日 現在)
- 個人会員 103名  
法人会員 1名

### III これまでの活動

- 第15回研究大会の開催  
2014年1月26日 於 別府大学
- 学会誌第14号の発刊  
2014年1月20日 発刊
- 地方セミナーの開催  
本年度の地方セミナーは、佐賀県公民館連合会・佐賀県社会教育委員連絡協議会との共催として、以下の2回を開催した。
- 2014年5月18日  
於 福富ゆうあい館 (佐賀県白石町)  
テーマ:「なぜ、子どもにホンモノの体験活動が必要というのか～大人にも子どもにも不足しているもの、そして多すぎるもの」

2014年12月2日

於 佐賀県立生涯学習センター  
アバンセ (佐賀県佐賀市)

テーマ:「体験活動は人づくりの“原点”だ!～子どもの『生きる力』習得を支援するホンモノの体験活動を考える～」(佐賀県公民館連合会・佐賀県社会教育委員連絡協議会合同研修会)

- 学会ホームページのコンテンツの充実  
昨年度リニューアルした学会ホームページの本格的運用を開始し、①学会誌論文の掲載、②事務局だより等の記事掲載、③各種申込に関する様式掲載の3点について充実を図った。
- 事務局だよりの発行  
2014年4月11日 第18号 発行  
2014年9月22日 第19号 発行
- 研究会の開催  
本年度は、プロジェクト研究部会を中心に取組む「若者に求められている社会人基礎力と生活体験」をテーマとし、理事を中心とした研究会を開催した。

### IV 総会・理事会での決定事項

#### (1) 第15回総会における決定事項

事務局より2013年度の学会会務報告ならびに2013年度決算報告がなされた。次いで、会計監査の山岸治男会員から監査報告がなされ、了承された。また、2013年度の学会活動報告として、研究担当、紀要編集担当、通信・HP担当より報告があった。

次に、選挙管理委員会より理事選挙結果ならびに事務局より2014-15年度理事体制についての報告・提案が行われた。新理事による互選の結果、新学会長として山崎清男会員とすることが提案され、了承された。加えて、山崎新学会長から、事務局長を永田誠会員に、事務局次長を大村綾会員とすること、学会事務局を大分大学に置くことが提案され、了承された。

2014年度会計予算案について、事務局より提案され、了承された。

また、2014年度学会活動について、研究、紀要編集、通信・HPの各担当より報告され、次回研究大会は九州大学にて開催を予定していることが事務局

より報告された。

**(2) 第1回理事会での決定事項**

第1回理事会では、以下の3点が協議ならびに確認された。

- ① 総会議案の確認が行われ、協議の上、了承された。
- ② 2014-15年度理事体制について確認がなされた。
- ③ 新学会長として、山崎清男会員が選出され、学会三役は以下の通りとすることが了承された。

<三役および事務局>

会 長：山崎清男  
 副会長：古賀倫嗣・上野景三・桑原広治  
 事務局：永田誠・大村綾

**(3) 第2回理事会での決定事項**

第2回理事会では、以下の5点が協議の上、承認された。

- ① 3年以上の会費未納者については「継続の意思なし」とみなし、除籍が認められた。
- ② 委員会・業務分担を見直すとともに本年度の理事の役割分担・体制が協議の上、以下の通りに決定した。なお、本年より、1)各委員会に副会長をリーダーとして配置し、担当部会の招集等を行うこと、2)適宜、三役会議の招集や

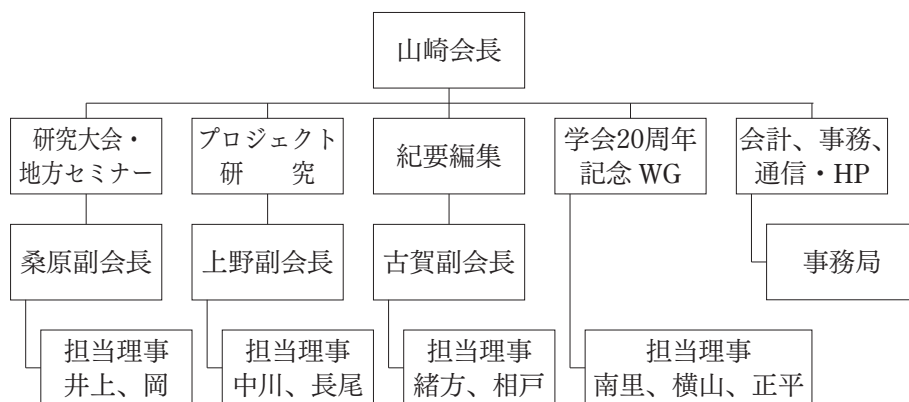
理事会での報告により、委員会間の連携をとりながら進めていくことの2点が確認された。

- ③ 2014年度の理事会開催スケジュールについて事務局より提案がなされ、第17回研究大会以降の研究大会開催時期について、本年度の理事会において検討を行い、次回大会までに結論を出すことが提案され、了承された。
- ④ 学会誌編集スケジュールについて、4月発行予定の「事務局だより」に、第15号の学会誌掲載論文の募集を封入することが了承された。併せて、論文のエントリーメ切を平成26年6月20日(金)、原稿メ切は、平成26年9月30日(火)(消印有効)とすることが了承された。
- ⑤ 地方セミナーについて、事務局長より、佐賀県公民館大会への共催の打診があったことが報告され、協議の上、積極的に支援していくことが了承された。学会としては、研究大会・地方セミナー部会にて担当する一方で、現地との打ち合わせ等については、上野副会長を担当理事とすることが了承された。

**(4) 第3回理事会での決定事項**

第3回理事会では、以下の5点が協議の上、承認された。

- ① 地方セミナーについて、上野担当理事より、5月19日の基調講演者として古賀副会長が登壇予定であることが報告された。また、学会としては地方セミナーとして位置づけていることから、「事務局だより」やHPを通じて、広く会員にも広報ならびに参加を呼びかけていくことが確認された。
- ② 学会誌第15号の発刊について、古賀紀要編集



部会長より学会誌第15号の編集方針について提案があり、協議の上、了承された。また、プロジェクト研究部会より、昨年度の研究大会のシンポジウムテーマを特集として取り組んでいきたいという意向が提案され、了承された。

- ③ 第16回研究大会については、2015年2月1日（日）に開催することが決定した。また、大会前日1月31日（土）に理事会・懇親会を開催することとなった。
- ④ 2014年度学会プロジェクト研究について、上野プロジェクト研究部会長より、先日行われた部会の報告とともに、プロジェクト研究のテーマとして、昨年度の研究大会のシンポジウムテーマを引き継いで、「若者の社会人基礎力」を取り上げたいとの提案が行われ、了承された。
- ⑤ 学会年間スケジュールの見直しについて協議を行い、研究大会は「現在の1月よりも、9月頃がよいのではないか」という意見から、9月第2週を候補として検討することが確認された。

#### (5) 第4回理事会での決定事項

第4回理事会では、以下の5点が協議の上、承認された。

- ① 長尾理事より、第15回研究大会決算報告がなされた。
- ② 地方セミナーについては、5月19日に開催された研修会の様子について、基調講演者として登壇した古賀理事より報告された。また、上野担当理事より、佐賀県公民館連合会より提示された計画書をもとに進捗状況等が報告された。
- ③ 紀要編集部会より、学会誌第15号のエントリー状況及び編集状況について報告がなされ、協議の上、了承された。論文投稿エントリーは、学術研究論文2本（査読あり）、実践報告1本、研究ノートまたは実践ノート2本の計5本であった。
- ④ 第16回研究大会については、大会シンポジウムのテーマについて協議を行い、前回研究大会に引き続き、若者問題を取り上げることが了承された。
- ⑤ 事務局より次年度以降のスケジュール案が提

案され、会則・規定の改正を要すること、次年度の研究大会・学会誌発行の準備も控えていることから、急ぎ議論する必要があることが確認された。関係部会にて協議の上、次回理事会での集中的に議論することとなった。

#### (6) 第5回理事会での決定事項

第5回理事会では、以下の3点が協議の上、承認された。

- ① 学会誌編集に関する進捗状況ならびに今後の予定について担当部会より報告された。また、学会誌発刊後の管理については、1) データを印刷会社から取り寄せる（紀要編集部会）、2) 事務局にて保管する、3) 要請があれば、図書館等にデータを送付する、4) 学会HPに掲載する、の4点が確認された。創刊号～第9号までの学会誌の電子データ化や保管する学会誌の取り扱いについては継続協議となった。
- ② プロジェクト研究部会より、大会シンポジウム案が提出され、テーマ・議論の方向性について協議された。登壇者等の詳細については、プロジェクト研究担当理事を中心に、研究大会・地方セミナー部会理事と議論の上、次回理事会にて再協議することとなった。
- ③ 学会年間スケジュールの見直しについては、理事会に先立ち開催された三役会議での案をもとに協議され、学会誌発刊時期については、「原則、研究大会に合わせて発行する。なお、2015年度の研究大会日程が9月であることから、編集期間を確保するため、2015年度の発行は見送り、2016年度に「2015・2016年度合併号」として学会誌第16号を発行する」ことが了承された。また、会計年度も、2015年度より、学会年度を8月1日から翌年7月末日にすることが提案され、了承された。

#### (7) 第6回理事会での決定事項

第6回理事会では、以下の6点が協議の上、承認された。

- ① 紀要編集部会より、2016年度以降の学会誌編集スケジュール案について提案がなされ、投稿アプライ：前年10月末、原稿提出：1月末、発

行：8月末とすることが了承された。紀要編集規定第4条（投稿資格）については、今後の学会運営の方針とも関連することから、理事会での意見をもとに、再度、紀要編集部会を中心に検討することとなった。

- ② 紀要編集部会より、学会誌第15号の発刊について、研究ノートまたは実践ノートの2本について投稿取り下げとなったことが報告された。また、今後のスケジュールとして、城島印刷入稿：11月20日、初稿校正：12月上旬、第2稿校正：12月下旬、最終校正：1月中旬、発行：1月下旬を予定していることが報告された。
- ③ 継続協議となっていた学会誌の電子データ化については、今後、事務局を中心に進めていくことが了承された。
- ④ 第16回研究大会については、1) 自由研究発表の申込数が多く、少しでも総括討議の時間を確保するために、開会行事を行わず、そのかわりに、大会シンポジウム前に挨拶を行う、2) 自由研究発表を2室に分け、第1分科会を古賀理事、第2分科会を桑原理事が司会を担当することが決定した。また、大会要項は、11月下旬に会員へ送付予定であることが確認された。
- ⑤ プロジェクト研究部会より、研究大会シンポジウムにおける登壇者4名が提案され、了承された。

- ⑥ 学会年間スケジュールの見直しについては、事務局より、年間スケジュール案ならびに会員への意見照会文案について提案され、協議を行った。会員への意見照会文案については、変更理由を丁寧に説明するべきとの意見が出され、事務局にて修正の上、発送を行うことが了承された。

#### (8) 第7回理事会での決定事項

第7回理事会では、以下の3点が協議の上、承認された。

- ① 2015年度予算案について、事務局より提案され、協議を行った。出された意見を参考に修正の上、次回理事会にて審議する。
- ② 継続協議となっていた学会誌編集規定の改正について、紀要編集部会等での協議内容が報告され、修正案が了承された。
- ③ 第17回研究大会について、2015年9月に佐賀県にて開催することが提案され、了承された。

#### (9) 第8回理事会での決定事項

第8回理事会では、2014年度決算および2015年度予算について協議され、了承された。また、総会議案ならびに提案内容、報告者等について確認された。